

2022 年度 9 月 学位記授与式式辞

2022 年 9 月 27 日

静岡県立大学学長

尾池和夫

2022 年度秋期、静岡県立大学大学院博士後期課程、薬食生命科学総合学府を修了した 2 名、薬食生命科学総合学府に博士論文を提出して合格された 1 名、大学院修士課程修了の国際関係学研究科 1 名、学部を卒業した国際関係学部 5 名、経営情報学部 1 名、以上 10 名の方々に学位記を授与しました。まことにおめでとうございます。

列席の副学長、部局長、教職員とともに、皆さんの学位記を心からお祝いいたします。あわせてご家族の皆様にも、こころからお慶び申し上げます。

静岡県立大学で学位を得た方々は 28,803 名、静岡薬科大学、静岡女子大学、静岡女子短期大学を含めると卒業生は合計 40,968 名になりました。そのうち修士は 4,155 名、博士は 1,087 名、博士の内の論文博士は 454 名となりました。

現在までに、静岡県立大学を出た方たちは世界の各地で、また日本の各地で活躍しておられます。皆さんも、その卒業生、修了生たちに仲間入りをして、これからはこの大学を母校として、後輩の成長を見守っていただきたいと願っています。同時に皆さんのこの母校は、また母港でもあります。ときには世界の航海から帰港して、さらに学習歴を更新するためにも、帰港する母港でもあってほしいと、この大学がそのような方たちを受け入れることのできる大学でなければと思っています。

これからの社会では学習を繰り返しながら時代の流れに対処することが必要です。AI が発達して多くの仕事は機械が上手にこなしますが、人でなければできない仕事はいつになっても必ず存在します。その社会の変革に対応するためには、この生涯学習歴更新の仕組みが重要な役割を果たします。

例えばオランダは「パートタイム社会」と言われるように、短時間就労と言っても、非正規や有期の雇用ではなく、無期雇用の正社員であり、労働時間の長短以外の待遇は同じです。フルタイムは労働時間が週 35 時間以上、パートタイムは週 35 時間未満とされています。フルタイムとパートタイム間の移行が労働者の権利として法律で認められています。これは経済を活性化させ、不況と財政難の克服を目指して雇用機会の確保のために推進されたワークシェアリングの仕組みです。このような世の中がやがて来るであろうとしても、あらたな学習に挑戦する気力と能力が必要です。

今日の皆さんには国際関係学部の方が多くおられます。今日、9月27日は1885（明治18）年9月27日、日本人編集者による日本初の英字新聞が発行された記念日です。外国人編集者による英字新聞はすでに出ていたのですが、長崎や横浜などの居留地に住んでいた外国人向けのものがほとんどでした。固体地球の変形を水平振り子で観測していたドイツ国内で、1889年4月17日の夕方、異常な振動が記録されました。研究者たちはその振動の原因がわからないまま懸命に調べていたところに日本で発行された英字新聞が着いて、それに東京の地震計が日本の近くで起こった地震を記録したという記事があり、それによって日本付近の地震から地球の中を伝わってドイツまで地震波が到着したことが判明しました。この大発見から地球の中の構造が地震波の記録の分析でわかることになりました。地球科学者としてわすれることのできない大発見です。

本日博士学位を得られた3名の方々の学位論文の題目や審査報告を私も読ませていただきました。博士（薬学）の野村久祥（ひさなが）さんは、国立がん研究センターのシーズ開発推進部で仕事をしながら、食道がんに関する研究によって学位論文を完成されました。博士（薬科学）の依田智美さんは、薬物誘発性肝障害に関する研究を、住友ファーマ株式会社に勤めつつまとめられました。博士（食品栄養科学）の田中浩子さんは、口腔健康度と肥満の関連についての調査と分析を行い、株式会社日本予防医学研究所で仕事しつつ論文をまとめられました。

皆さんの研究成果はそれぞれの関連分野での知的財産の蓄積となり、後輩たちによってさらに進展されることになることでしょう。研究に従事した経験を、ご自身でも今後の仕事に活かしていただきたいと思います。

今日、学位を得られた皆さんが、心身の健康に十分留意されながら、さまざまな分野でますますご活躍されることを祈って、学位記授与式の私の式辞といたします。

あらためて学位授与、まことにおめでとうございます。ありがとうございました。